

## 弘法さまが歩き始めました

弘法大師空海の名言を味わう旅が始まりました。企画から2年、筑摩書房より『空海散歩』を出版。第一巻「苦のすがた」の執筆者は53名。これより7ヶ月ごとに刊行、5年後の全十巻完結をめざします。各巻の内容は以下の通りです。

第一巻「苦のすがた」は、苦しみの原因を正しく見つけ、この苦しみを受け入れ、その苦しみをいかに解決していくかということがテーマです。

第二巻「世のながれ」は、諸行無常がテーマです。有為転変の生と死を学ぶことが課題になっています。著者61名が空海名言の山林に入り、川の流りに沿いながら、人生の無常や風景の変化などを眺め、落葉の道を散策します。今年7月発売です。

第三巻「たすけあい」は、避けて通れない人生苦と無常を見つめた上で、赤ちゃんが母に抱かれるような安らかな心境を著者65名で著述します。来年2月出版です。

このような調子で、四巻「こころをつくる」、五巻「法を伝える」、六巻「さとりの記述」、七巻「さとりの風景」、八巻「これが真言密教」、九巻「仏のはたらき」、第十巻「大日の光」へと登りつめていきます。

『空海散歩』は苦界から無常、修行、真言、悟り、大日の光へ向かっていく精神的発達史のシリーズ本です。したがって著者と読者は、迷いから悟りへ向かいながら歩くことになります。

弘法さまのことばには深い意味があります。一句をじっくりと味わっていると、心のなかに眠る仏さまが見えてきます。多くの空海名言を乱読するのではなく、一字一句を、丁寧に味わうことが『空海散歩』の歩き方です。

『空海散歩』は弘法さまの名言を読み解く参考書です。弘法さまのことばは仏説です。一句の名言をゆっくりと噛みしめれば様々なことに気づかされます。ゆえに、一句一句、一步一步、弘法さまへ接近していくわけです。名言の解釈は多岐にわたります。人それぞれに味わい方も異なります。だから面白いのです。

『空海散歩』には弘法さまの魅力に出会ってほしいという願いがこめられています。一服の清涼剤として空海名言を嘗めてください。きっと心に眠る秘宝に気づくことができるでしょう。弘法大師ご誕生1250年に向けて全集を完成させます。どうかあなたも長生きなさり、弘法さまに接近してください。

### 『空海散歩』の法話とサイン会

4月15日(日)10時~12時 日比野弘法堂にて 参加自由

講師:高野山桜池院住職 近藤堯寛

一宮市浅井町大比日野 2158 / Tel 0586-51-1335